

# 2015年3月期 第1四半期 決算参考データ

2014年8月7日

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

本資料に記載されている業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、経済情勢をはじめさまざまな要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。

# 2015年3月期第1四半期 業績(前年同期比)

## 主な増減要因

### 【売上収益】

金融機関、郵便、携帯キャリア向け等の増加により増収。

### 【売上総利益】

不採算案件の増加により売上総利益率が低下するも、増収により増益。

### 【その他の収益及び費用】

販売管理費は増加するも、その他の費用が減少し横ばい。

### 【営業利益】

売上総利益の増加により増益。

### 【受注高】

携帯キャリアやコンビニ向けを中心に増加。

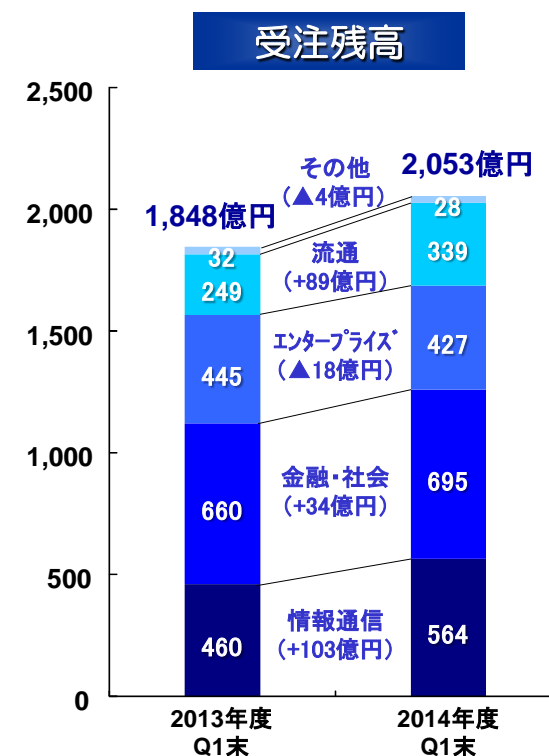
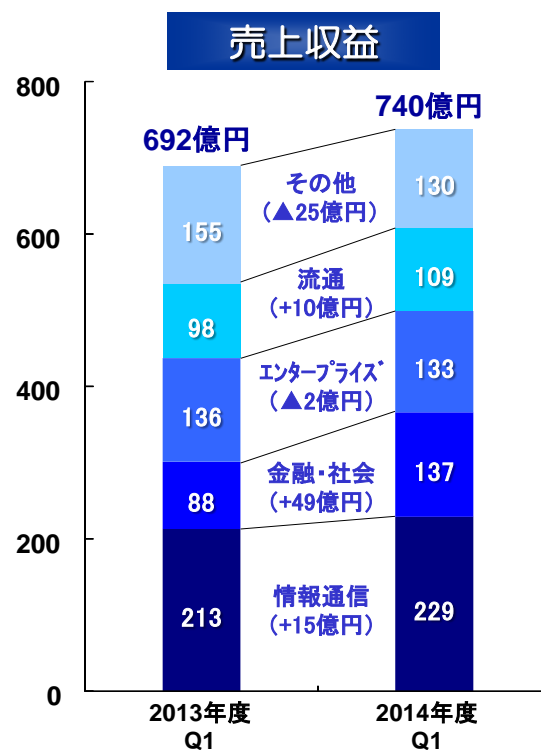
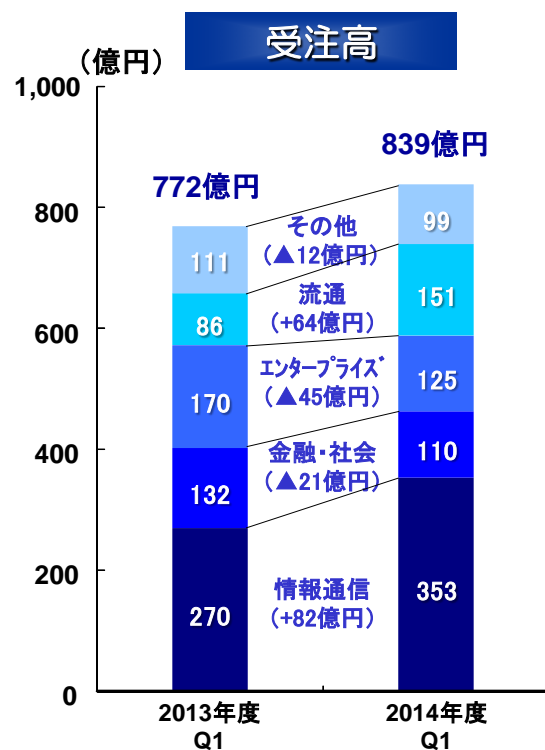
### 【受注残高】

携帯キャリアやコンビニ向けを中心に増加。

	2013年度Q1 実績		2014年度Q1 実績		前年同期比	
	金額(億円)	利益率	金額(億円)	利益率	金額(億円)	伸び率
売上収益	692	—	740	—	+48	+6.9%
売上総利益	157	22.7%	166	22.5%	+9	+6.0%
その他の収益及び費用	▲ 155	—	▲ 155	—	+0	+0.2%
営業利益	2	0.3%	11	1.5%	+9	+405.3%
四半期利益	0	0.1%	7	1.0%	+6	+816.6%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	0	0.0%	7	1.0%	+7	+7903.4%
受注高	772	—	839	—	+67	+8.8%
受注残高	1,848	—	2,053	—	+205	+11.1%

# 事業グループ別(前年同期比)

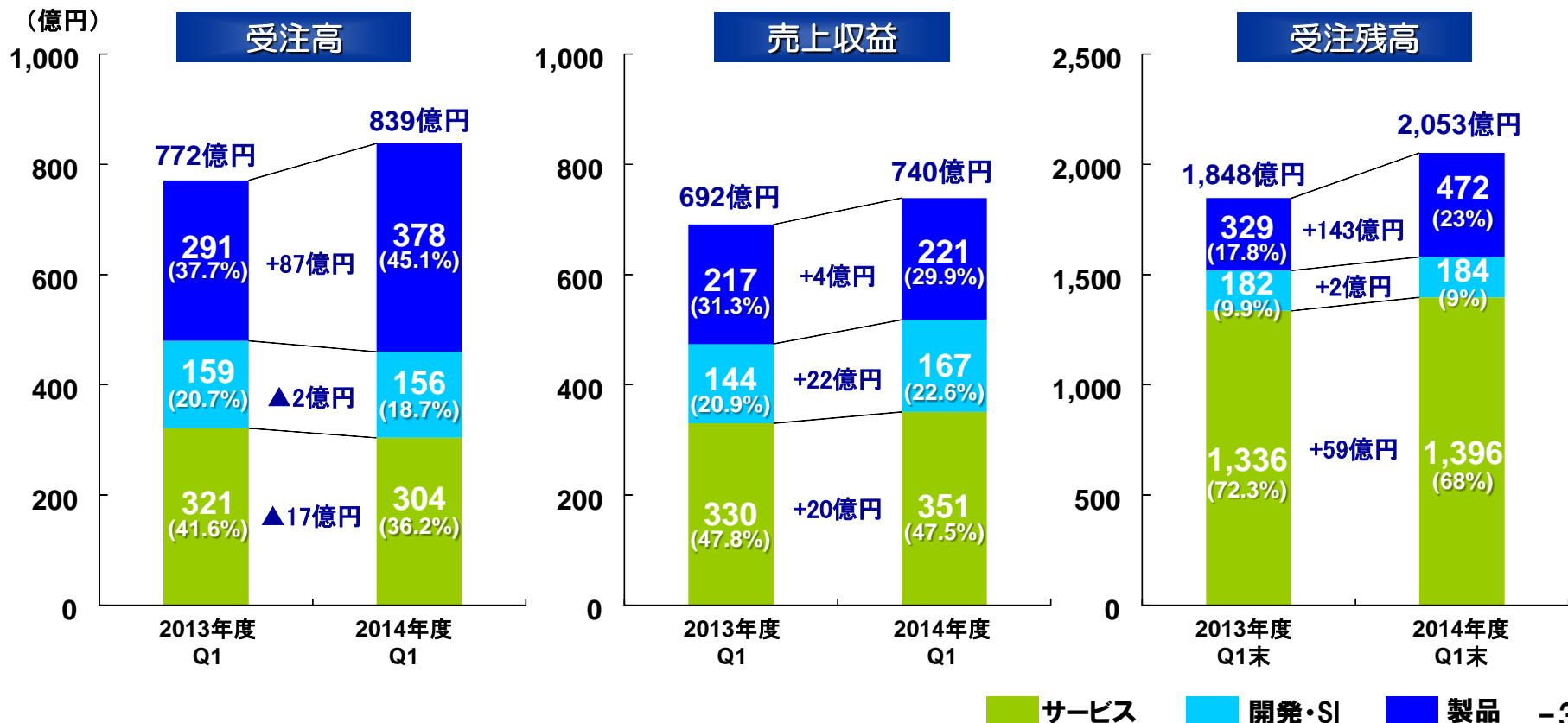
- 情報通信：携帯キャリア向けネットワーク増強案件により、受注・売上ともに増加。
- 金融・社会インフラ：受注は郵便向け案件の反動により減少。売上はメガバンクや郵便向け案件を中心に増加。
- エンタープライズ：受注は住宅及びネット関連企業向けサービス案件が減少。売上は概ね前年並み。
- 流通：主要顧客向け開発案件の増加により、受注・売上ともに増加。



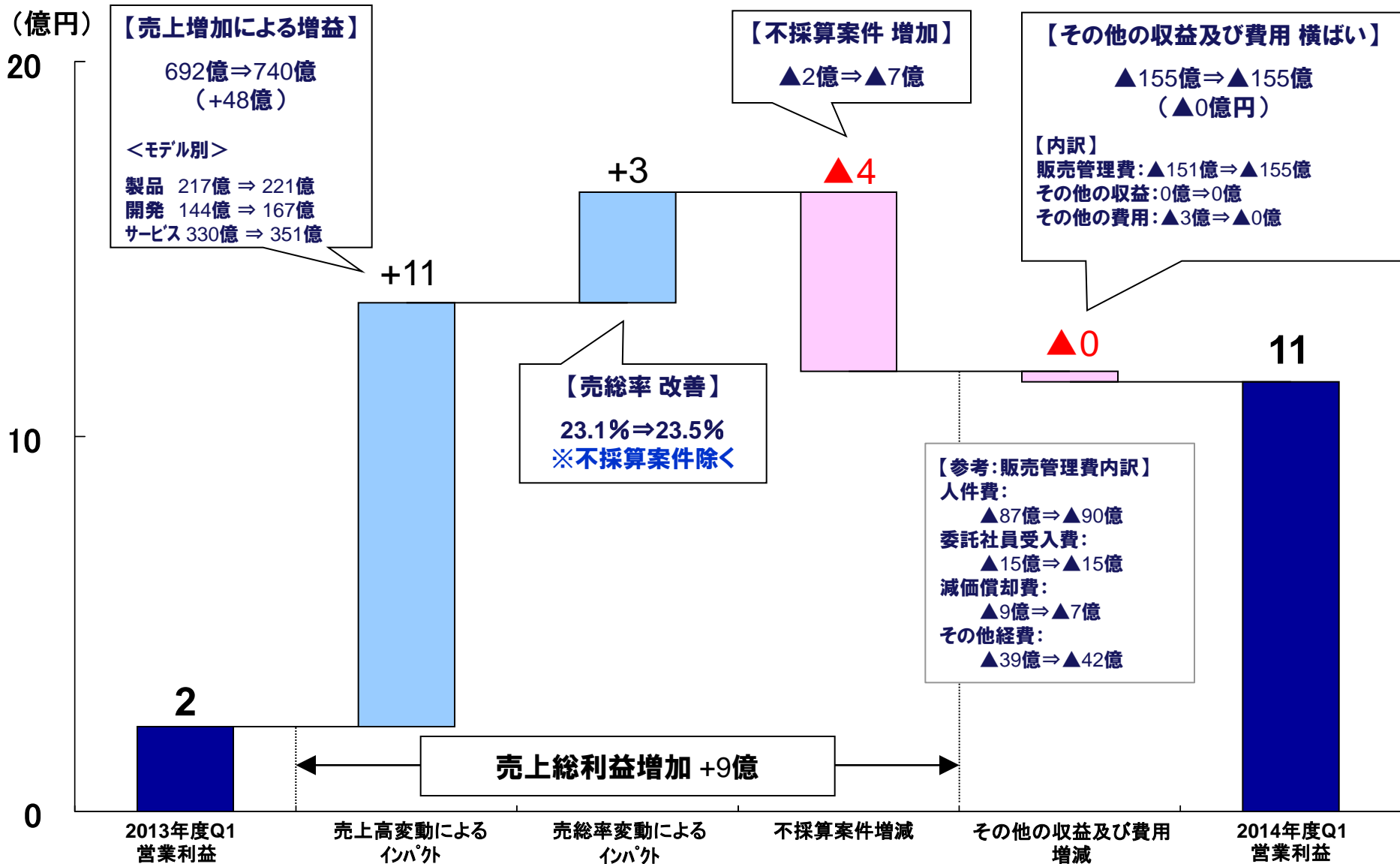
※2014年度の事業グループ組織再編に伴い、当ページに記載の2013年度第1四半期実績は、新組織ベースに組替えた値を使用しています。

# ビジネスモデル別(前年同期比)

- サービス: 受注はエンタープライズにおけるサービス案件が減少。売上はメガバンクや郵便向けビジネスが増加。
- 開発・SI: 受注は概ね前年並み。売上は携帯キャリアや郵便向けインフラ構築案件を中心に増加。
- 製品: 受注は携帯キャリア向けネットワークや流通向けストレージが増加。売上は概ね前年並み。



# 営業利益増減要因(前年同期比)



**CTC**

Challenging Tomorrow's Changes